

6月30日大阪入り～国民平和行進～
近年最高の300名で府内行進
柏原市大和川河川敷で奈良から引き継ぎ・出発集会

2014年国民平和行進・大阪府内行進が、6月30日柏原市から開始されました。12時40分から大和川河川敷で出発集会が始められ、大阪実行委員会を代表して、川本幹子・新婦人府本部会長が挨拶。「この国民平和行進は、特別な意義を持っています。安倍内閣が集団的自衛権を閣議決定しようとしている中、戦争をさせない、核兵器を使わせない大きな意味のある行進です」と力説。マラヤ・フアブロスさん(非核フィリピン連合)は、「国際青年リレーが実現できて大変うれしい。核兵器なくすのは、今でしょ」の掛け声に大きな拍手。ニーニョ・デシエルトさんは、「日本の運動に参加できて光栄です。ミンダナオにここで学んだことを持って帰ります」と力強く挨拶しました。



大阪からの全国通し行進者の田中 薫さんは、「今日で56日目です。広島まで歩く自信ができ、大阪に戻ってこれて本当にうれしいです」の挨拶に、大きな拍手が送られました。



八尾市役所前の集会では、近年のこのコースで最高の300名以上の参加者で市役所前が埋まり、担当者が交通整理をするほどの盛況でした。

参加者は東大阪に向かう行進途中、かわち野医療生協からのお茶・ジュース提供で元気回復。岩田公園での終結集会では、東大阪原爆者の会・多久忠男会長が挨拶され「広島・長崎に原爆が落とされて69年、今だに核兵器が存在しており、被爆者の願いは核兵器廃絶であり、みなさんと一緒にがんばりたい」と訴えられました。



真っ黒になって広島に向かって歩き続ける全国行進者の竹田昭彦さん、五十嵐成臣さん、田中薫さんに惜しみない拍手が送られました。また、2015年NPTに到着する「大阪オレンジTシャツ」を着て平和行進先頭を歩く12名の府内通し行進者にも、「核兵器廃絶に燃えているようで感じがいい」の声援が送られました。

(2014年国民平和行進「大阪実行委員会ニュース」No.4 6/30より)

